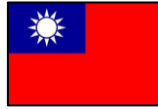


# 「英語で教室から世界とつながる」プラットフォーム事業

“Opening a New World from the Classroom” Project, Hiroshima



## Chin His Junior High School



## 福山市立駅家南中学校

### 交流の概要

学 年：2 学年

単元名：Unit 4 Tour in Singapore

(Here We Go! English Course 2)

ねらい：相手の冬休みの予定や、自分の冬休みの過ごし方を伝え合うことができる。

台湾の生徒の自己紹介を聞いている様子



冬休みにしたことを台湾の生徒に説明している様子



活動内容：

#### ①自己紹介（グループ）

学級を6つのグループに分けて、各グループごとにオンラインで接続し、自己紹介を行った。

#### ②冬休みにしたことについてスピーチ（グループ）

冬休みにしたことを台湾の生徒に説明をした。旅行で訪れた場所や、お正月の過ごし方などを英語を用いて伝えた。授業で学習した過去形を正確に用いて、伝えられている生徒が多くみられた。

#### ③冬休みの予定についてスピーチ（グループ）

台湾の生徒は、1月末から冬休みとのことで、それぞれの予定について聞くことで、多文化理解を深めるきっかけになった。

#### ④質疑応答（グループ）

互いの発表の後、さらに知りたいことを即興で質問したり答えたりした。設定されたトピックでの会話が終わったグループから、自分たちが興味や関心のあることや知りたいことについて交流した。

≪交流方法：Google Meet≫

### 大切にしたこと

- ・オンライン上ではあるが、対面での交流のため、原稿を準備せず、即興的なやり取りをすることを重視した。
- ・生徒が分からないことの全てを教師が教えるのではなく、生徒同士で協力し、生徒自身で解決させることを意識した。
- ・授業の中だけにALTとのやり取りの時間を設けるのではなく、授業外でも英語を用いてコミュニケーションを取れるようにし、英語を用いて話すことに少しでも慣れるように工夫した。

### 生徒の声

- ・英語で話したときに、自分が伝えたことが相手に通じて、会話ができて楽しかった。
- ・相手の言っていることがわかって嬉しかった。
- ・自分たちだけで、会話ができて、自信がついた。
- ・台湾の生徒の英語力がすごかった。

### 交流を終えて

### 先生の声

- ・海外の同世代の生徒と英語で話すことは、貴重な経験となったと思う。
- ・普段学習している英語を実際のコミュニケーションの場で使うことで、自分が学習したことが活かされ、今後の英語学習の意欲につながった。
- ・生徒がなんとか自分の力で伝えようと、一生懸命協力しながら伝え合う姿が多く見られた。